

## 2. これからのみちづくり

### (1) みちづくりの基本理念

調布市には多くの未整備路線が残されているという状況を踏まえ、今後は以下に示す3つを基本理念としてみちづくりを進めていきます。

**移動の安全性や速達性だけでなく、防災、活性化など、  
道路に期待される多様な役割が発揮されることを重視したみちづくりを進めます**

病院、避難所、観光拠点などへの行きやすさ、高齢者や子供たちの移動時の安全性の確保、住宅地の防災性の向上、自転車による移動の利便性向上など、道路に期待される役割は多様化しています。

道路ユーザーや市民のみなさんの道路に対する様々な期待に応えられるように、道路の多様な役割を確認し、これらの役割が十分発揮できるようなみちづくりに取り組んでいきます。

**目の前にある問題の早期解決を目指して、  
選択と集中により短期間で効果が発現されるみちづくりを進めます**

道路の整備にあたっては、地権者等との合意形成が必要なことから、道路整備はある程度の時間を要します。また、今後の市の財政状況を考慮すると、ますます道路整備に時間を要することが想定されます。しかし、道路整備が円滑に進まなければ、道路に期待される役割が十分に発揮されず、目の前にある問題が残されたままとなってしまいます。

このため、その時代背景に応じた道路整備の優先度を明確にし、選択と集中を図ることにより、効率的かつ効果的に道路整備を進め、早期に問題が解決されるみちづくりを目指します。

**定期的に道路の必要性や優先度を確認し、  
柔軟かつ継続的なみちづくりを進めます**

調布市内の都市計画道路は、大部分が昭和37年に都市計画決定し、生活道路は、昭和61年に計画して、長い年月をかけてある程度の道路整備を進めてきましたが、未整備の道路も多く存在します。そして、近年の高齢化の進行や防災意識の高まりなど、社会経済状況が大きく変化する中で、その必要性が変化してしまった可能性があります。

そこで、社会経済状況や調布市を取り巻く状況等に対応した道路の計画となるように、定期的に道路の必要性や優先度を確認し、みちづくりを進めていきます。

## (2) みちづくりの進め方

みちづくりの基本理念を踏まえ、今後は以下のとおり、みちづくりを進めていきます。

### ① 広域道路網と地区内道路網からなる**道路網計画**をつくります

これまで、都市計画道路と生活道路の計画は別々に検討されてきたため、調布市内の道路は一体的な整備が図られていませんでした。そこで、これらを一体の計画としてとらえ、広域的な移動を支える都市計画道路を『広域道路網』に、広域的な道路を補完し地区内の移動を支える生活道路を『地区内道路網』として位置付けることにしました。

なお、本計画は、『東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）』（東京都と市区町が策定）と整合を図ります。

### ② 道路整備の優先度を定める**プログラム**を位置付けます

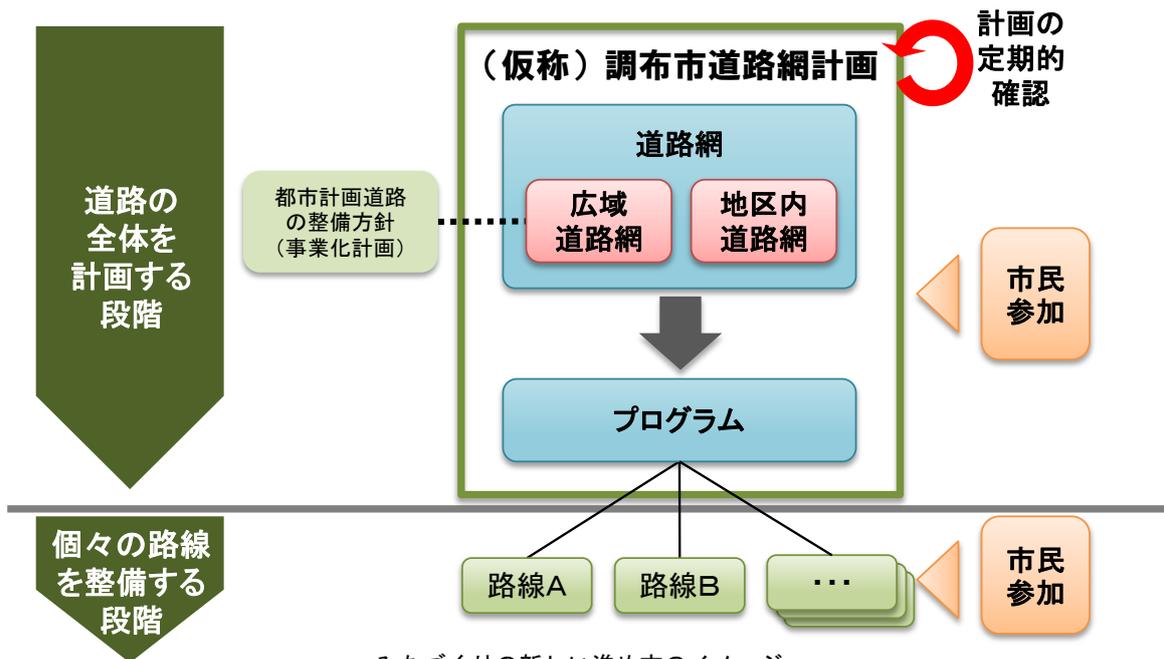
調布市の重点課題を踏まえて整備の優先度を勘案し、優先的に整備する路線を示したプログラムを道路網計画に位置付けます。

### ③ 計画段階から、**みなさんのご意見を伺います**

道路網の計画を策定する段階から、みなさんのご意見を伺いながら検討を進めることによって、市民と行政が相互に理解を深めるみちづくりに取り組みます。

### ④ 道路の必要性や優先度を**定期的に確認する仕組み**を位置付けます

最新の社会経済状況や調布市を取り巻く状況等に対応した道路の計画となるように、定期的に道路の必要性や優先度を確認し、道路整備を進めていきます。



みちづくりの新しい進め方のイメージ

### 3. 道路網計画の目標

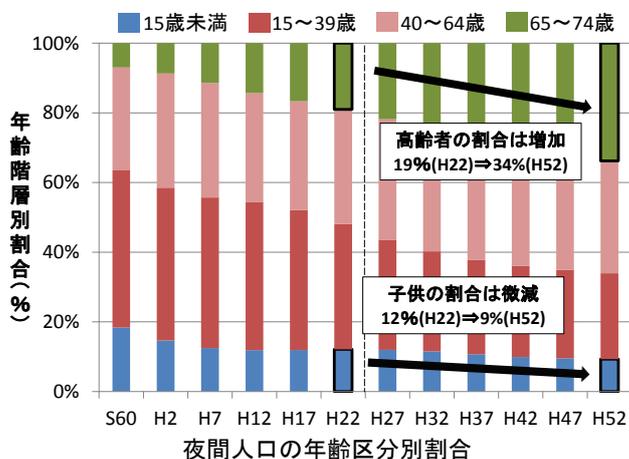
調布市を取り巻く状況，上位関連計画，平成 26 年度に実施した「みちの井戸端会議」，「市民アンケート」でいただいたご意見を踏まえ，道路網計画の目標を設定しました。

快適  
便利  
安全

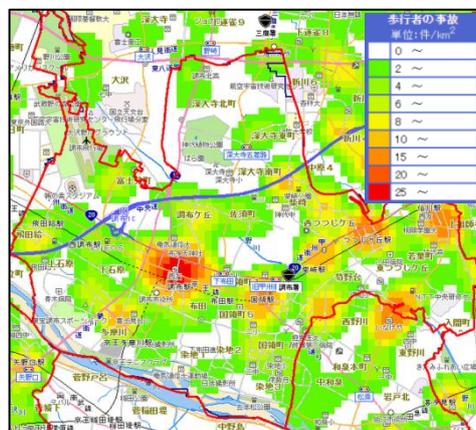
#### 快適、便利、そして安全な移動空間の確保

調布市は，全国の傾向と同様に高齢化の進行が予想される一方で，子育て層が多く居住する地域です。しかし，駅周辺や交差点付近では，歩行者や自転車の事故が多く起こっている状況にあり，安全な移動空間の確保が必要です。これにより，高齢者は外出しやすくなり，健康な暮らしにつながるるとともに子育て層は安心して子供を育てられるようになります。

そこで，誰もが快適，便利，安全に移動することができるみちづくりを進めていきます。



資料：国勢調査（平成 23 年，総務省），  
調布市の将来人口推計（平成 26 年 3 月，調布市）より作成



歩行者事故発生場所

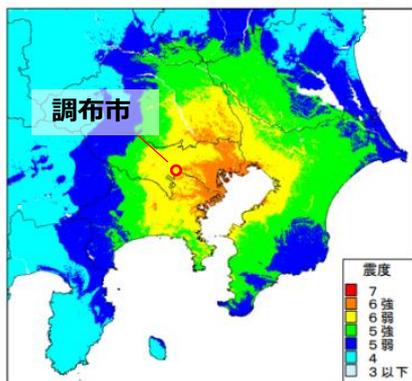
出典：事件事故発生状況マップ（平成 26 年，警視庁）

防災  
減災

#### 防災・減災機能の強化

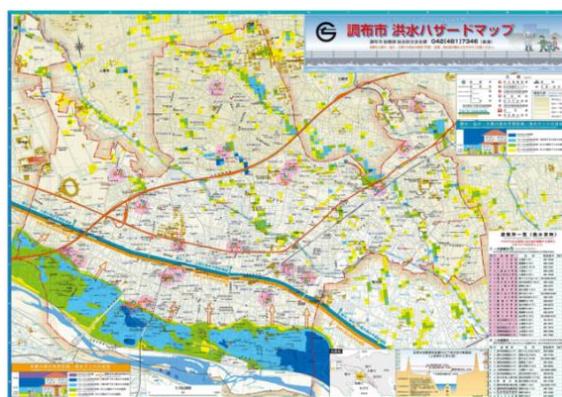
首都直下地震が今後 30 年以内に約 70%という高い確率で発生すると予測され，調布市においても，震度 6 以上が想定されており，上位計画である調布市基本計画の施策のひとつとして，災害に強いまちづくりを掲げています。

そこで，防災・減災機能を強化したみちづくりを進めていきます。



首都直下地震の震度分布

資料：首都直下地震対策検討ワーキンググループ  
最終報告の概要（平成 25 年，内閣府）より作成



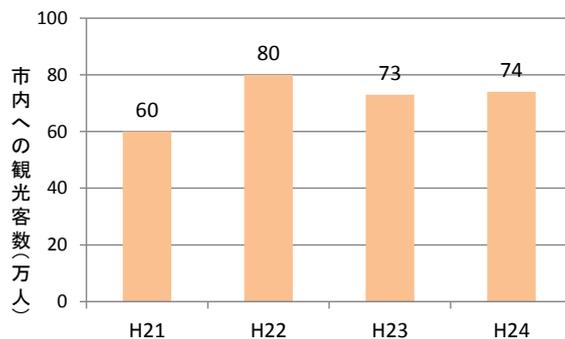
調布市洪水ハザードマップ

出典：調布市洪水ハザードマップ（平成 26 年 11 月，調布市）

**活性化** 商業・文化・にぎわいが織りなすまちの形成

調布市では、京王線連続立体交差事業により京王線の地下化が実現したことで、鉄道で分断されていた市街地の南北一体化など、様々な面で都市構造が大きな変貌を遂げました。

そこで、中心市街地を活性化するとともに、観光拠点の魅力の向上と積極的な活用により、にぎわいのあるまちづくりに寄与するまちづくりを進めていきます。



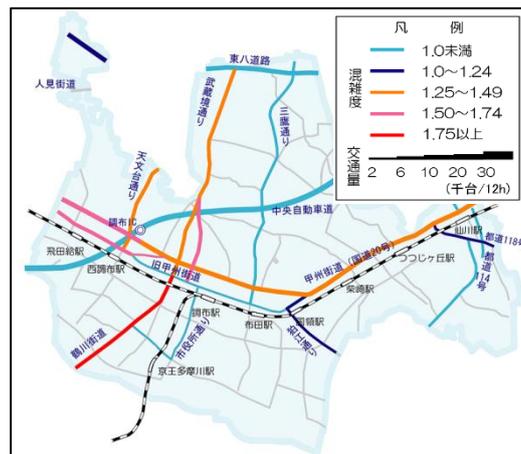
観光客数の推移

資料：調布市まちづくりデータブック 2013  
(平成 26 年，調布市) より作成

**環境・住環境** 低炭素なまち、生活環境に配慮した住みやすいまちの形成

地球温暖化問題は、早急に対応していかなければならない問題であり、調布市では、平成 22 年に調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、温室効果ガスの総排出量の削減を目指しています。しかし、今後、何も対策を講じないと、温室効果ガス、二酸化炭素の排出量は増加することが想定されます。

そこで、低炭素なまちを目指し、生活環境や沿道環境に配慮した住みやすいまちを形成するまちづくりを進めていきます。



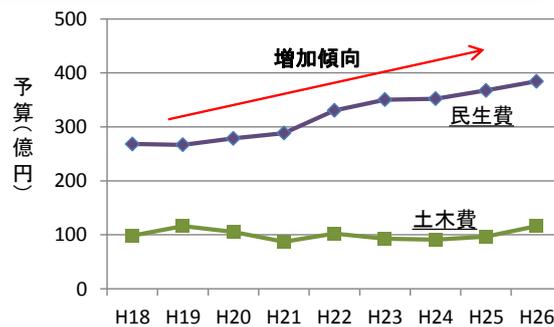
幹線道路の混雑状況(H17 時点)

出典：調布市総合交通計画(平成 23 年 4 月，調布市)

**効率性** 効率的かつ効果的なまちづくりの推進

調布市では、増加する社会保障関係経費への対応、公共施設の適切な維持管理、中心市街地の基盤整備など様々な財政需要が見込まれています。

そこで、調布市の予算規模も踏まえ、効率的かつ効果的なまちづくりを進めていきます。



民生費と土木費の推移

資料：内部資料(調布市)より作成

## 4. 道路網構築の視点～道路に期待される機能～

道路に期待される役割や機能の観点から、道路網構築の視点を設定しました。  
視点ごとに、構築すべき道路網を検討していきます。

快適  
便利  
安全

### ● 鉄道駅への移動性向上

- ・ 鉄道駅まで様々な交通手段で、安全に移動できるようにする



バス路線となっている道路

### ● 地域の安全性向上

- ・ 通学時の安全性を確保する
- ・ 公益施設への移動時の安全性を確保する



小学校の通学時間帯の通学路

### ● 救急医療施設への移動性向上

- ・ 主要な救急搬送先（第3次救急医療施設等）への移動性を向上させる

### ● 自動車交通の円滑化

- ・ 将来の自動車交通需要に対応して一定の自動車交通を処理する機能を確保する

防災  
減災

### ● 緊急時の避難しやすさ向上

- ・ 緊急時に安全に移動できる避難路を確保する



広域避難場所（神代植物公園の自由広場）

### ● 緊急時のネットワーク形成

- ・ 救援活動や物資輸送を確実に実施できるようにする
- ・ 消防活動困難区域を解消する

### ● 火災時の延焼防止

- ・ 木造住宅密集地域等において延焼遮断に寄与する道路網を構築する

活性化

● 中心市街地を回遊しにぎわいを創出

- ・ 中心市街地を安全・快適に回遊できる道路ネットワークを形成する



調布駅前広場（イメージ）

出典：調布・布田・国領駅前広場等検討報告会 配布資料  
(平成 23 年 6 月・7 月, 調布市)

● 観光拠点への移動性向上

- ・ 深大寺等の観光拠点にアクセスしやすくする
- ・ 市内に点在する観光拠点の回遊性を高める



深大寺周辺

環境・住環境

● 低炭素社会の構築

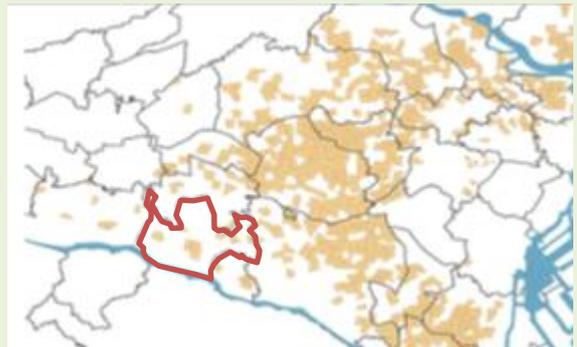
- ・ 道路混雑を解消し、円滑な自動車走行空間を確保することにより、CO<sub>2</sub> 排出量を削減する



国道 20 号の渋滞

● 良好な生活空間の創出

- ・ 木造住宅密集地域等の交通環境の改善を図ることにより、地域内の快適な居住空間を形成する



木造住宅密集地域

資料：防災都市づくり推進計画（平成 22 年，東京都）より作成

効率性

● 効率的、かつ効果的に道路網を構築

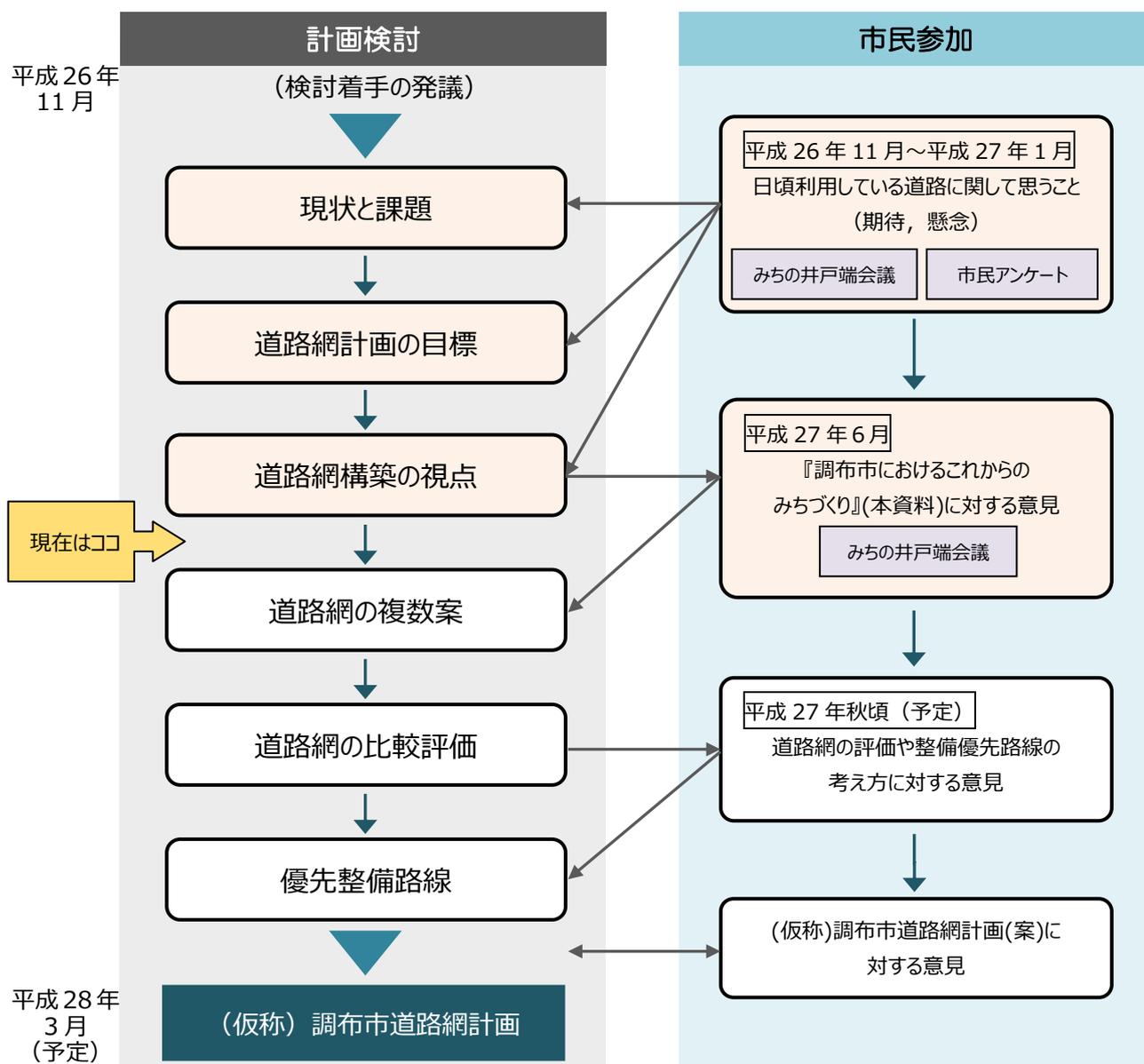
- ・ 新規道路整備以外に代替可能な手法があれば積極的に取り入れ、効率的・効果的に道路網を構築する

## 5. 今後の予定

みなさんから今までにいただいたご意見やこれまで検討してきた概要を報告するとともに、本資料『調布市におけるこれからのみちづくり』に対するご意見をお聴きし、意見交換を行う場として、「みちの井戸端会議」を開催します。ぜひみなさんのご意見をお聴きかせください。（日程や開催場所については市報や調布市のHPでお知らせします。）

市民のみなさんからお寄せいただいたご意見は、『(仮称) 調布市道路網計画』策定のための参考とさせていただきます。

### 【進め方】



#### ●お問い合わせ先●

調布市 都市整備部 街づくり事業課  
 TEL：042-481-7587（直通）  
 FAX：042-481-6800

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています

登録番号  
 (刊行物番号)

2015-61